

配の声が寄せられる。国3・4・11号線も東京都への積極的な働きかけをして頂きたい。

市長) 地権者へ丁寧な説明をし東京都からの情報を入手し提供していきたい。

●**ぶんバス北町ルート試験運行**。点在する住民や高齢者からバス停が少なく乗車できないとの声。バス停増設・ルートの見直しを求める。

市長) 停留場の増設などニーズに応え検討する。○要望の高い**万葉ルート**、**けやきルート**も一刻も早く、確実に達成して頂くよう切望する。

●**空き地・空き家の適正管理に関する条例**が策定されたが長期放置物件には課題が多く交渉には時間を有する。ルールを策定し解決を望む。

市長) 寄付や活用も含め、引き続き取り組む。

●**街灯のLED化**は照度が明るく、防犯性も高く好評。計画的に更なる整備を求める。

市長) 電力消費・維持管理費削減の効果は大きい。27年度は一灯式道路照明灯を手がける。

●**防災**には速やかな対応が必要。個人情報保護に配慮した新名簿作成、要支援体制の整備を。

市長) 市民の命を守る事が最優先。地域の力をお借りし様々な機関と訓練を含め、連携する。

その他) 年代に即した食育の推進などを質問。

戦後70周年、 日本国憲法を活かす政治へ



日本共産党国分寺市議団 幸野 おさむ

幸野◆**日本国憲法と自治基本条例**◆安倍政権が集団的自衛権の閣議決定や特定秘密保護法の施行、戦後70年談話などで、日本国憲法をなき者にしようとしている。非核平和都市宣言をしている国分寺市から歯止めをかけて。

市長 (安倍政権には触れず) 平和事業を今後も継続していく。平和の大切さを伝えていく。

幸野国分寺まつりに「9条の会」「Bye-Bye原発の会・ちょっと待って原発の会」が再び出店できるよう、参加と協働、情報共有を理念とする**自治基本条例の立場**で、調整するよう求める。

市長国分寺まつりには補助金を出している立場。出店要項は実行委員会が決めて実行される

幸野その実行委員会に対し、市や一部の市議が、補助金を交付する立場を利用して意見を付けてきたことが出店制限の原因だ。市の立場を是正して、出店を調整するよう強く求める。

幸野◆**市民の暮らし第一の市政**◆2014年のGDP速報値では成長率は0%。しかし、中身をみると、個人消費は過去20年間で最大の落ち込みだ。原因は消費税の増税やアベノミクスの物価高であり、今後の雇用や社会保障も悪くなるばかり、不安は増すばかりだ。そういう中で「**市民の暮らし第一の市政**」に向けて質問する。**消費税の地方分**が市に10億円あまり増収されているが、年金・医療・介護・子育てに用途は限定されているのに来年度の予算には見当たらない。どう活用されているのか。

市長年金・医療・介護・子育てに充てている。(と言いながら具体的には言及なし)

幸野実際には全て基金に積み立てられている。きちんと**社会保障の分野**に回すべきだ。その点で認可保育園や特別養護老人ホーム、学童保育所の増設、高齢者の生きがい入浴事業の再開、低所得世帯の高校生への奨学資金の復活等を求める。私たちは消費税には反対だがすでに払っている**税金は社会保障に充てるべきだ**。

市長私もそのようなものに使っていかねばいけないと思う。**施設の充実とあわせてサービ**

スの充実も図る。**そのための消費税の値上げ**でもあるのでしっかりと対応したい。

幸野認可保育園の増設で待機児童をゼロにする目標は非常に大事なことだ。ただ**高齢者や障がい者の分野**の拡充は、予算案や策定中の計画案には見当たらないので修正を求める。

国民健康保険税については、**市が値上げの理由**である7億円の赤字を会計操作によってつくり、**値上げしてきたことを考えると引き下げるべきだ**。また**介護保険料も年額15,700円引き上げるのは、あまりに重すぎるため抑制を**。

市長国保の赤字分はあと4年、**一般会計からの繰入で解消する**。介護保険料は幅広く負担をしていかなければならないためご理解を。

幸野この間、行政改革と称して公立保育園や小学校給食、図書館業務の一部が民間委託されているが、**この分野の民間委託は適切ではない**。中止するよう強く求める。また**公民館や地域センター、小中学校の校庭や体育館などの公共施設を全面的に有料化しようとしているが、むしろ市はこうした施設等で活動されているグループや団体を支援していくことが地域福祉の要だ**。地域福祉の視点からして逆行している。

市長それぞれの施設の経緯も特徴もある。**丁寧な説明をして、ご理解をいただきたい**。

幸野◆**大型開発偏重の市政が財政を圧迫**◆

国分寺駅北口再開発の市の負担が196億円ではなく463億円だったことが明らかになった。この金額を市民や議会に一切説明せずに再開発という手法で推進してきたことが、**財政が厳しい最大の原因だ**。これ以上の負担は絶対に増やさず、住友不動産から入る予定のお金はすべてくらしの予算に使うべきだ。**地下駐輪場**についても15億円から31億円にする計画があるが**極力抑えるべき**。**西国分寺駅の北口再開発も再開発ではない手法でやるべき**。

市長**税金は非常に厳しい**。西国分寺駅北口については計画が進行しているわけではない。

幸野◆**まちづくりは市民本位で**◆

ムダづかいなく行うことが重要だ。①**国分寺駅周辺の駐輪場の増設**を②**西国分寺駅の東口開設**を③**恋ヶ窪駅の東口開設**を求めるがいかがか。

市長西国分寺駅の東口は**請願駅**にいただきたくない努力をしている。恋ヶ窪駅東口開設は**ご協力ご支援を**。(時間切れで後は委員会)

財政改革と人材育成で 今こそ改革の成果を!



政策市民会議国分寺 木村 徳

木村=市長就任から1年7カ月、前市長時代から変えられたことと変えられていないことは。

市長=市政の透明性を高め、情報共有をした上で同じ問題意識を持って事にあたれるようになり、そのことが市民に分かりやすい市政につながっている。一方で、人材育成は今後も辛抱強くやっていかなければならない。

木村=27年度予算は収支均衡を達成したが、扶助費等の増加が避けられない中、28年度以降の見通しがあるの収支均衡予算なのか。

市長=市税収入が微減でありながら、ゼロベースでの歳出見直しを行った結果の収支均衡であるが、ご指摘の通り、超高齢社会に向けて歳出は増加していく。それを踏まえて増収策を図っていかねばならない。27年度はロケット実験60周年事業として、ふるさと納税のお礼の品にペンシルロケットのレプリカを作成し1億円

の歳入を見込んだ。今後の財政は経費の削減だけでは安定的財政運営はできないと考える。

木村=ロケット開発発祥の地として、今後、ペンシルロケットに関し、更なる付加価値をつけて継続してもらいたい。また、これから国分寺駅北口再開発の清算金135億円が入ってくるがそのお金の扱いの判断も極めて重要だ。

市長=ペンシルロケットについては、好評であれば続けて行き増収策に結び付けたい。再開発の清算金はまずは特定建築者に値引きなどせずきちんとお支払い頂く。その上で、将来の財政を見据えた形で適切な管理を行っていく。

木村=変えられていないと冒頭述べた人材育成について、一方では市長は仕事の効率化のためにと市庁舎建替えも言及している。人材が育成されなければ、どんなに効率的な建物になっても、**効率的な仕事はなされない**。やはり先になすべきは人材育成ではないか。

市長=両方とも時間がかかるものなので同時並行にやる。しかし、今の課題は職務にあった仕事を与えられていないということである。現在行っている業務プロセス分析の結果として、正規職員、嘱託職員、臨時職員がそれぞれのやるべき仕事を明確にし、責任の所在を明らかにする。その結果として職員が成長できるような人事政策を行っていききたい。

木村=同時並行とは言いながらも人材育成・人事が重要であると感じる答弁である。その意味で今年から市長の補佐役たる第1副市長が交代した。そのことで変わったことは。

市長=これまでは人事の停滞があった。新副市長は行政を外から見、議会事務局長なども経験され、経験豊かによくやっている。庁内も本当に透明化が図られ、彼を目指して頑張るとい意味で人材育成にもつながっている。

木村=目指すべき上司がいるかいないかというところは組織のあり方を大きく左右する。新副市長は範を示しているということであろう。

これまで10カ年であった基本構想・長期総合計画を(仮称)長期総合ビジョンとして8カ年として策定を始めることは、市長任期が4年であることから合理的であり評価する。市長任期と整合を取るといことは長期計画に全責任を負うという決意のもとか。

市長=今回の改正には1つは時代の変化が速くなっているのにスパンが長すぎること、もう1つは市長が変わっても何年も前市長の方針を引き継がなければならないことだ。公約の実行に即応できる形がよいと判断した。8年という期間は正に責任を持ってやる期間ということだ。

木村=ぶんバス北町ルートの試行運転は評価するが、利用者が少なく利便性の向上につながっていない。ポイントはバス停である。地域の声を聞いた上で本運行時には改善を。また、今回の試行運転で明らかになった問題点を万葉けやきルートの試行運転時にも活かすべきだ。

市長=やはり停留所の少なさが影響している。本格運行に向けて警視庁との協議を継続していく。要望の高い万葉けやきルートも北町ルートの経験を活かして実現に向けて検討していく。

木村=昨年いじめ虐待防止条例が制定されたが、いじめの現状をどう把握をしているか。また、いじめを無くしていくための不退転の決意を。

教育長=昨年11月現在で小学校7件、中学校7件を把握している。一件一件の内容を精査し、いじめの問題を無くしていくように市を挙げて取り組んでいく覚悟だ。

